

007	地域全体を巻き込んだ 工業団地による災害対策の取組	取組主体		
		旭丘団地協同組合		
		従業員数	想定災害	実施地域
		(53社)	全般	石川県

・次世代を担う若手の主導により団地全体を巻き込んだ「面的な連携体制」を構築。消防署、警察、市役所、地域の保育園も参加する大規模な防災訓練を毎年実施し、地域ぐるみの防災を推進。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

- ・旭丘団地は、石川県白山市の北陸道金沢西 IC 付近に立地しており、昭和 58 年に整備を開始した工業団地となる。本団地には、工作機械や機械金属製品業、ハイテク機器製造業などの多彩なものづくり企業が 53 社集積している。
- ・旭丘団地協同組合では、工業団地における安全衛生管理、共同販売、環境美化、防災対策等の共同事業を担っている。

次世代を担う青年部を中心とした自主防災マニュアルの作成

- ・同団地では、東日本大震災をきっかけに、各企業における防災対策への機運が高まった。各企業が加盟する団地組合の青年部では、次世代を担う若手主導で「自主防災マニュアル」を策定した。具体的には、組合員企業の自助強化に向けた取組や、「共助」、「互助」のための各社の役割、情報連絡体制等を整備している。
- ・同マニュアルには、防災設備や備蓄品のあり方、非常時の連絡体制等が盛り込まれている。また、消火栓や防火貯水槽、自動体外式除細動器（AED）の位置が分かる地図も組合員企業間で情報共有している。さらに、一部の企業が被災した際、避難する従業員を相互に受け入れたり、トイレや水道の使用、AEDの提供などを盛り込んだ「防災協力協定」を組合員企業 53 社間で締結している。



防災訓練の様子

地域を巻き込んだ大規模な訓練を毎年実施

- ・「自主防災マニュアル」に基づき、団地全体の企業を巻き込んだ大規模な防災訓練を毎年実施している。同訓練では、消防署や警察、自治体とも連携しており、消防車の放水や人工呼吸訓練も取り入れている。
- ・当団地内に保育園があり、組合員企業従業員の多くも利用しているため地域の保育園からも訓練に参加するなど、「地域ぐるみ」での活動に発展している。



地域の保育園児の訓練への参加の様子

周辺環境への配慮

- ・本団地は、扇状地の豊かな農地の一部を開発してつくられており、水田に囲まれて立地している。そのため、環境保全には特別に配慮しており、工業廃水の基準に係る契約を近隣の農家と締結している。
- ・油流出事故等では迅速な対応が求められる。有事の際は、団地周辺の農業用水の流れを水門でコントロールする必要がある。その水門を管理する各町の「生産組合長」にいち早く情報を伝えることが重要である。そのため、「生産組合長」の名簿を管理する農協に毎年協力して頂き、災害時の情報連絡体制を整備している。
- ・また、有事に備え、オイルフェンス・マットを備蓄するとともに、関係者との情報伝達訓練も実施している。



水田に囲まれた工業団地

国土強靱化

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・一つの企業では小さな力でも、団地全体で「面的な連携体制」を組むことで「地域ぐるみの取組」へと発展した。地域防災について関係機関と交渉を重ねることにより、農協や地域との連絡網の構築、行政や消防を巻き込んだ防災訓練などが実現した。
- ・これらの取組により、地域からの信頼を獲得できた。また、発注事業者からも評価されている。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・地域ぐるみの取組をさらに強化するため、関係者を巻き込んだ訓練などを継続していきたい。
- ・災害発生時に災害連絡本部、連携事業者が直ちにマニュアルを参照できるよう電子データのバックアップ体制を整備していきたい。

4 周囲の声

- ・発注先から危機管理対応について問われた際、組合の防災や事業継続への取組について報告できるようになり、それが実績として評価されている。(組合員企業)

担当者の声

- ・災害に強い工業団地を作り上げていくにあたり、本取組が地域貢献にもつながるということに関係者にご理解いただくことが大変重要であると感じた。

問合せ先	動画	サイト URL
旭丘団地協同組合 法人番号: 3220005002875 TEL : 076-275-3181 FAX : 076-275-6065 E-Mail : info@asa-dan.jp	—	